



【環境未来都市 スマートな住まい・住まい方プロジェクト】
横浜市住まいのエコリノベーション推進事業
横浜市ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)推進事業

省エネ住宅普及啓発アカデミー

～これからの横浜の省エネ住宅・住宅地の在り方を地域で考える～

日時

平成29年5月13日(土)
10:00～12:30(9:30受付開始)

会場

横浜情報文化センター 6F 情文ホール
(所在地)横浜市中区日本大通 11 番地

講師

横浜市立大学国際総合科学部
まちづくりコース長

齊藤 広子 教授

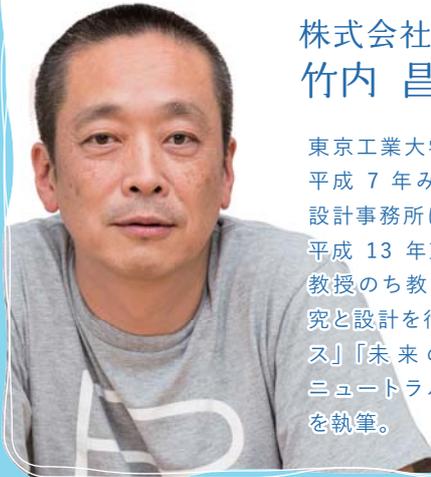
筑波大学卒業後、不動産会社勤務、明海大学不動産学部教授を経て、平成27年より現職。社会資本審議会委員、横浜市空家等対策協議会委員を務める。「住環境マネジメント：住宅地の価値をつくる」を執筆。



講師

株式会社みかんぐみ
竹内 昌義 共同代表

東京工業大学大学院修了。
平成7年みかんぐみ共同設立。
設計事務所に関わりつつ、平成13年東北芸術工科大学准教授のち教授。エコハウスの研究と設計を行う。「図解エコハウス」「未来の住宅 / カーボンニュートラルハウスの教科書」を執筆。



当日のプログラム

- 講演「住環境の価値を高めるために必要なこと」
齊藤 広子 教授
- 講演「省エネ住宅の実践から見る、
住宅の価値の創造」
竹内 昌義 共同代表
- ディスカッション
「これからの横浜の省エネ住宅・住宅地の在り方を地域で考える」
- 平成29年度 補助制度の概略説明

参加費／無料 定員／先着200名(事前申込制)

参加申込方法／電話又はEメールにて

申込先／横浜市住宅供給公社 街づくり事業課

045-451-7740

平日午前9時～午後5時(土日祝定休)

eco-renovation@yokohama-kousya.or.jp

参加者氏名、職業・所属(会社名・学校名など)

連絡先(電話番号、Eメールアドレス)

締切／平成29年5月12日(金)17時まで



開催にあたって

省エネ住宅を考える時に、個々の住宅の省エネ性能を考える一方で、それが立地する地域の在り方を共に考えることが大切になってきます。自分の住まいがいかに素晴らしくても、周りの住宅が劣化して空き家が増えてしまえば、住宅地としての価値は維持できません。

これからは個々の住宅の価値と同時に、それが集まってできる住宅地の価値・街の価値をいかに高めていくかが重要です。

住宅地の価値・街の価値を考えていくために、今回は二人の講師に話をさせていただきます。

一人は、横浜市立大学の齊藤 広子 教授です。不動産の観点から建物・地域の再生を専門にされていて、現在、住環境マネジメントによる住宅地の価値づくりに取り組まれています。

もう一人は、(株)みかんぐみの竹内 昌義 共同代表です。山形にて産官学連携エコハウスプロジェクトに携わり、近年では岩手県紫波町にて新しい住宅地におけるエコハウスの導入と、設計者・施工者育成という地域産業としての省エネ住宅普及に取り組まれています。

不動産・建築と観点は違いますが、共に、個々の敷地から地域まで幅広い視点を持つお二人に講演いただいた上で、後半のディスカッションで、横浜のこれからの省エネ住宅・住宅地の在り方、実現可能性についてお話いただきます。

司会：佐々木 龍郎（株式会社佐々木設計事務所）

アクセス



- ・みなとみらい線「日本大通り」3番出口 徒歩0分
- ・JR「関内駅」南口 徒歩10分
- ・横浜市営地下鉄「関内駅」1番出口 徒歩10分

横浜市は、環境問題や超高齢化への対応などの様々な社会的課題に総合的に取り組んで活力ある都市をつくる、国家的なプロジェクトのひとつ「環境未来都市」として国から選定されており(平成23年12月)、「環境未来都市推進プロジェクト」を進めています。本事業は、環境未来都市推進プロジェクトのひとつである、「スマートな住まい・住まい方プロジェクト」(市民生活の基礎となる「住まい」・「住まい方」を切り口に、省エネルギーやライフスタイルの普及を図る取組)の一環として進めるものです。

住まいのエコリノベーション推進事業ホームページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenchiku/housing/sumai-eco/>

ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)推進事業ホームページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenchiku/housing/zeh/>

